

新型コロナウイルス感染症による 愛知県内の NPO への影響調査 <速報>

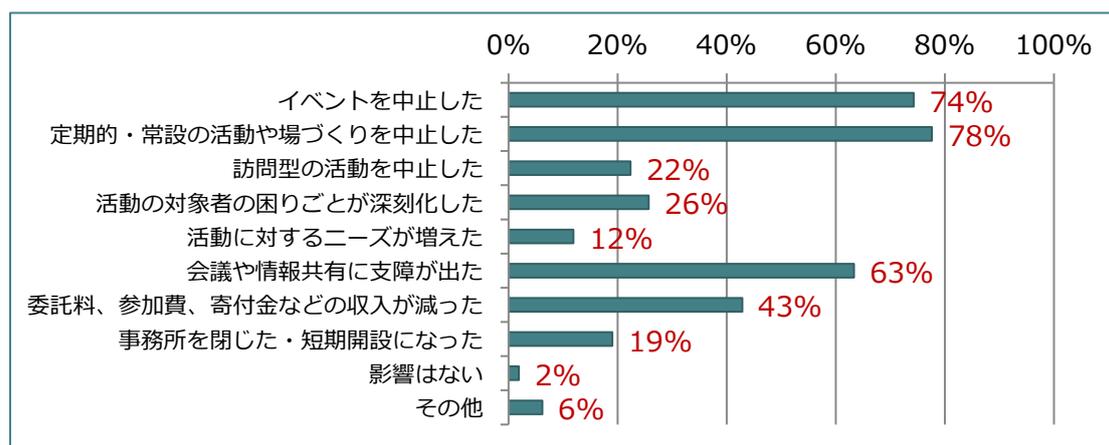
2020年5月8日 特定非営利活動法人ボランタリーネイバース

愛知県内の市民活動団体（NPO）及び活動の対象となる人々への新型コロナウイルス感染症の影響を明らかにするため、ボランタリーネイバースでは、4月24日～5月3日に、愛知県内の市民活動団体に緊急アンケートを呼びかけ、**210件**の回答を得ました。大変な状況の中ご回答をいただいた皆様にお礼を申し上げますとともに、第1弾として下記の速報をお届けします。

■調査結果の要旨■

- 1：団体への影響** 定期的・常設の活動を中止（78%）、イベントを中止（74%）、会議や情報共有に支障が出た（63%）、収入が減った（43%）など、多くの NPO の活動が阻害され、経営や組織的活動に困難をきたしている。
- 2：活動の対象者への影響** 子ども・子育て家庭、高齢者、障がい者（特に知的・精神）のほか、在住外国人、被災地・者、基礎疾患のある人やがん患者など幅広い対象者に影響が出ている。うつ状態になる、要介護度が進む、仕事がないなど深刻な状況も発生。集う場が失われたことによる孤立・不安もある。
- 3：意見・要望** 財政的支援への要望、もっと情報交換・助け合いたいという声が寄せられた。活動を再開できるよう早く事態が収束することを望む意見と共に、やるべきことを模索している状況がうかがえた。

1. 活動にどんな影響がありますか（複数回答可）



2. 団体の運営について、どんな困りごとがありますか

※一部、簡易な表現に変更しています

【活動の中止や新たな負担など】

- ・国際協力の活動をしているが、渡航が禁じられ、新年度計画も立てられていない。
- ・講座のオンライン開催を検討しているが、動画配信や参加費徴収にはコストや技術力が必要。
- ・施設や送迎車の消毒等に手間がかかる。マスク・消毒液等の確保が難しい。
- ・通所事業も続けながら電話相談や訪問支援も加わり、スタッフの業務量が増えた。
- ・放課後等デイサービスを朝から実施することとなり、事務作業が滞りがち。

【会議や情報共有】

- ・会議ができず、メールや電話での意見集約が中心。意思疎通が十分できているか心配。
- ・今年 法人設立の予定だが、会って話せないなかスムーズに進められるか不安。
- ・事業の休止期間が都度更新されたので、会議が増えて対応に追われた。

【収入の減少】

- ・通常活動を中止し、要望に応じてオンラインで交流の活動をしているが、収入はない。
- ・受託している事業の中止が決まった。
- ・申請予定していた民間の助成プログラムが休止となり資金源が一つ断たれた。
- ・収益事業（飲食）の売上が激減したため、4月末での閉店を決断した。
- ・事業縮小により収益は減少するが、職員への休業手当は支払わなければならない。
- ・正会員の継続率が下がった。

【その他】

- ・ボランティアが集まって活動できない。
- ・他団体・企業との連携による企画が進まない。
- ・助成金を受ける事業の大幅なスケジュール遅延が見込まれる。
- ・新入職員の育成や引き継ぎができず、モチベーション維持も心配。

3. 活動の対象者にどんな影響がありますか

子ども・子育て家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て不安や悩みを吐き出す場がなくなり、虐待やDVへ波及しないか懸念している。 ・ネット・スマホ・ゲーム依存が増えた。 ・夜寝る時間が遅くなったり、怒りっぽくなっている子どもがいる。 ・学校の授業の支援と生活困窮者世帯向けの学習支援を行っているが、通常時の支援ができず、子どもたちの能力、成長が育まれない。
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅にこもりがちになり、介護保険のサービスを新たに利用し始める案件を聞いた。 ・足腰の衰え、認知症の進行が心配。 ・外出自粛による介護負担、ストレスの増加。働く介護者の収入減、離職の恐れ
障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防のための行動をさせることで、知的障害のある利用者に不安や混乱が生じた。 ・外出支援（動物園など）を中止しているため、理解できない当事者の方が不安定に。 ・発達障害の親子の発散できる場も閉めているため、母親の不安感が増している ・自宅で精神障害の状態が悪化している人が増えている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人…失業など生活に困窮したり、休校で子どもが勉強する場所がない。 ・NPO 支援…電話相談対応は意思疎通がうまくいっているか分かりづらい。団体の活動状況がほとんど把握できない／印刷室が使えず長年の会報発行が止まった団体がある。 ・ガン患者…通院ができなくなった。集まって気持ちの落ち込みを和らげられない。 ・男女共同参画…女性たちが働く上でさまざまな困難を抱えている。 ・防災…被災地を訪問できなくなり、地元の支援者に負担をかけている／県内避難者の個別訪問ができず、具体的な支援策を展開できない。

4. 活動に関する困りごとを解決するために役立つ情報や人はいますか

NPO の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・非営利組織評価センター ※テレワーク勤務規程のサンプルを公開 https://jcne.or.jp/2020/04/30/teleworkrules/ ・中間支援 NPO に総会開催に書面評決を取り入れる方法を聞いた。 ・市民活動センターに電話で相談した。 ・同じ分野で活動している NPO から、公的な情報を共有してもらった。 ・行政からマスクの配布を受けたり、消毒液の購入先を教えてもらったりした。
活動の対象者に情報を届ける	<ul style="list-style-type: none"> ・多文化共生マネージャー全国協会のブログ（多言語による支援メニュー紹介、相談事例等） https://note.com/npotabumane/m/m81d7c10ab9d4 ・じょさんし online（助産師による相談等） https://josanshi-cafe.com/
インターネット・電話の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・電話をかけ放題プランにした。 ・団体内の詳しい人の力で、オンライン会議ができた。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・テイクアウト販売をしている飲食店を Instagram で紹介する活動をしている。 ・手作りマスクを福祉施設に届ける活動をしている。

5. 意見・要望

- ・NPO 法人も助成金・補助金が受けられるのか分かりにくい。
- ・委託事業の中止で収入が減った。人材がいなくなってしまうのか不安。／支出後に市から返還を求められることはないのかなどの不安があり、思い切ったことができない面がある。
- ・オンラインでの会議の方法、在宅勤務になった場合の規程など、共通した困りごとの解決方法が知りたい。
- ・この状況下だからこそ何かすべきと思うのと、スタッフの安全をどう確保するかの板挟みになっている。
- ・今できることについて NPO/NGO スタッフ同士の意見交換を行い、助け合いたい。

6. 回答いただいた団体の属性（総数 210）

NPO 法人 140 (小計)			その他 70	
①保健・医療・福祉 53	③まちづくり 16	⑥文化・芸術・スポーツ 11	その他の法人 13	任意団体 57
⑦環境保全 13	⑩子ども健全育成 22	その他の分野 25		

■今後に向けて■

この調査結果については、詳しく整理・検討を行うとともに、「NPO が連帯して取り組むべきこと」や「行政等への要望」をまとめ、5月末ごろに共有・発信したいと考えています。何かお気づきの点がございましたらお知らせください。

また困りごとの情報提供や相談もメールで随時受け付けております。お気軽にお寄せください。

> メール宛先 chousa@vns.or.jp <